

# 株主のみなさまへ

## 第135期 第2四半期のご報告

2025年4月1日から2025年9月30日まで

### 当社の親会社である日本製鉄株式会社による当社株式に対する公開買付けの開始予定に係る賛同の意見表明及び応募推奨に関するお知らせ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今般、親会社である日本製鉄株式会社より、当社普通株式に対する公開買付けの提案を受け、本年8月1日の当社取締役会において、新たに設置された特別委員会の答申に基づき、現時点における当社の意見として、本公開買付けが開始された場合には、本公開買付けに賛同する旨の意見を表明するとともに、当社の株主の皆さまに対し、本公開買付けに応募することを推奨する旨の決議をいたしました。

この取締役会決議は、公開買付者が公開買付け及びその後の一連の手続を経て、当社の株主を公開買付者のみとすること

を企図していること、及び当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。まづもって、これまで当社の株式を保有して下さった株主の皆さまのご愛顧・ご厚情に深く深く感謝申し上げます。

当社は、耐火物は日本のみならず、世界の産業の発展に欠かせない製品であり、当社の事業は人類の未来の発展や幸福を支えるものと考えています。そうした矜持を、私も含めて従業員・役員一同が持ちながら、これまで同様、真摯に、且つ果敢に事業を推進し、お客様はじめすべてのステークホルダーのみなさまと共に成長を続けて参りたいと存じます。

### 第135期第2四半期のご報告

当社グループの当上期経営成績は、当社グループの主要顧客である鉄鋼業界において、国内外の粗鋼生産量が低調に推移する中、生産性向上・歩留まり改善等の自助努力によるコストダウン施策や、耐火物事業における原料・エネルギー価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁の実施に加え、インド事業の拡大やファーンレス事業における工事案件の着実な受注等、2025見直し経営計画で掲げる各種施策に取り組んだ結果、前年同期比で増収増益となりました。

2025見直し経営計画期間の最終年度となる当期の当社を取り

巻く経営環境は、世界全体に亘る不安定な政治・経済動向を受け、先行きを見通し難い状況にあるものの、当社は、下期も引き続き、生産性向上・歩留まり改善等自助努力の更なる追求とともに、マージン改善、インドを中心とする海外事業の一層の拡大等、同経営計画での諸施策の完遂に全社一丸となって取り組むことにより、同経営計画の財務目標達成を目指します。加えて、人的資本経営の取り組み深化、環境ブランドK-GenesisX™活用等によるカーボンニュートラルへの弛まぬ歩みを通じ、更なる事業成長とサステナブルな社会づくりへの貢献を引き続き推進してまいります。

#### ごあいさつ

代表取締役社長

江川 和宏



### トピックス

## 米国鉄鋼技術協会主催展示会「AISTech 2025」出展について

当社米国法人Krosaki USA Inc.は、5月5日から7日までの期間、米国テネシー州ナッシュビルで開催された鉄鋼技術協会(AIST: Association for Iron & Steel Technology)主催の展示会「AISTech2025」に企業ブースを出展しました。

AISTは、70か国以上から18,500人の会員を擁する非営利団体で、毎年米国で展示会・技術報告会を開催しています。AISTech2025には8千名以上が来場しました。

当社ブースでは、社長の江川をはじめ、世界各国から集まった当社グループ会社やブラジルのパートナー会社IBAR社(Indústrias Brasileiras de Artigos Refratários)が参加し、技術動画の上映や、新材質浸漬ノズルEVER-CLEAN®(環境ブランドK-GenesisX™戦略商品)のモデル展示を行いました。また、技術報告セッションでは、当社社員が「転炉の装入壁における高強度を有する新規耐火煉瓦材料の開発成果」に関する技術発表を行いました。

当社は、今後も国内外の展示会への出展、技術フォーラムへの参加を継続し、最新技術の普及とお客様との対話機会の拡充に積極的に取り組みます。



当社ブースでの集合写真

### 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
剰余金の配当の基準日	○期末配当実施の場合……3月31日 ○中間配当実施の場合……9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当社ホームページ( <a href="https://www.krosaki.co.jp/">https://www.krosaki.co.jp/</a> )に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京(プライム)・福岡
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
照会先	<b>☎0120-782-031</b> 受付時間/土・日・祝日を除く 9:00~17:00 インターネットホームページURL <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>

#### ■株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記のお問合せ先にご連絡ください。

#### ■特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しています。

お問合せ先 **☎0120-707-843**  
(受付時間/土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)

#### 公式X(旧Twitter)アカウント開設のお知らせ

この度、当社は、SNSを活用して幅広い方々にさまざまな情報を発信することを目的に、公式X(旧Twitter)アカウントを開設いたしました。是非フォローして最新情報をチェックしてください。



公式Xアカウントは  
コチラ▲

#### 黒崎播磨株式会社 (証券コード:5352)

〒806-8586 北九州市八幡西区東浜町1番1号  
URL <https://www.krosaki.co.jp/>  
TEL.093-622-7224 FAX.093-622-7200



SDGsの取り組み  
webサイトはコチラ▲

売上高 **884.0** 億円

売上高

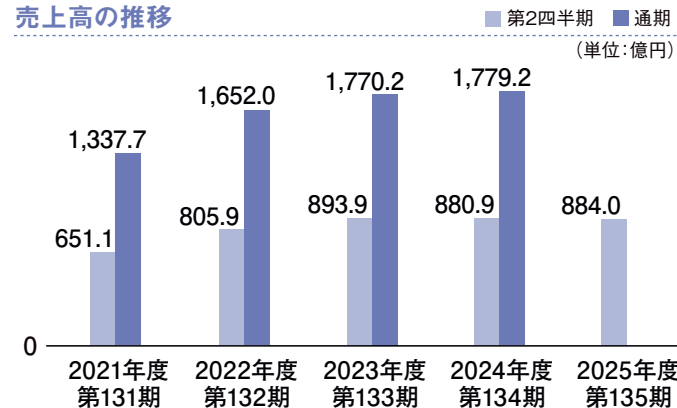
国内外での粗鋼生産量減少に対して、耐火物事業における原料・エネルギー価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁及びインドでの拡販等を進めたことにより実力ベースでは増収となったものの、円高の進展に伴う円換算売上高の目減りにより耐火物事業の売上高は減収となりました。一方、ファーンレス事業における工事案件の増加等により、全体では、前年同期に比べ0.4%増収の884億5百万円となりました。

営業利益 **74.2** 億円  
 経常利益 **80.0** 億円  
 中間純利益 **107.4** 億円

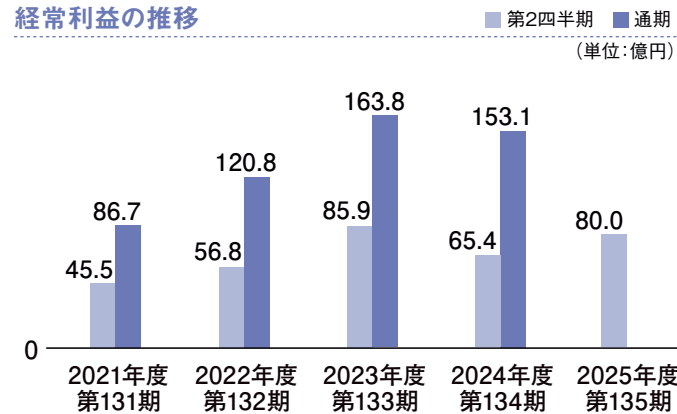
利益

営業利益は、前年同期に比べ18.1%増益の74億21百万円、経常利益は、前年同期に比べ22.4%増益の80億6百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、保有していた賃貸不動産の売却により、前年同期に比べ158.1%増益の107億46百万円となりました。

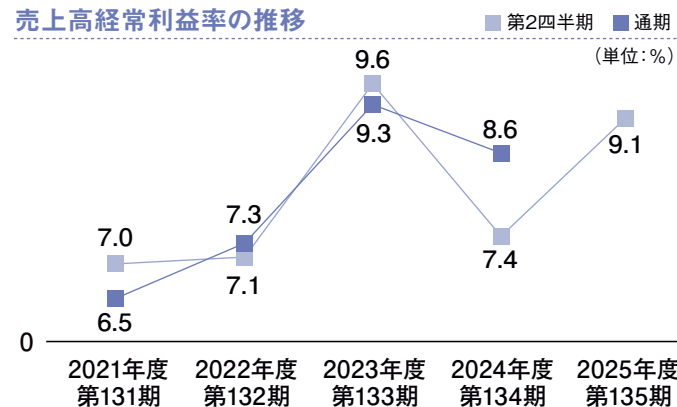
売上高の推移



経常利益の推移



売上高経常利益率の推移



耐火物事業

売上高構成比 **84.8%**  
 売上高 **750.1** 億円



実力ベースでは増収となったものの、円高の進展に伴う円換算売上高の目減りにより減収、利益はマージン改善・コストダウンにより増益

売上高は、国内外の粗鋼生産量の減少に対して、原料・エネルギー価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁及びインドでの拡販等を進めたことにより実力ベースでは増収となったものの、円高の進展に伴う円換算売上高の目減りにより、前年同期に比べ0.4%減収の750億10百万円となりました。利益は、マージン改善に加え、生産性向上・歩留まり改善等の自助努力によるコストダウン施策を進めたことにより、前年同期に比べ10.2%増益の61億19百万円となりました。

ファーンレス事業

売上高構成比 **10.3%**  
 売上高 **90.8** 億円



工事案件の増加に加え、要員効率化等のコストダウンや資材等コスト上昇分の着実な価格転嫁を進めたことにより、増収増益

売上高は、工事案件の増加に加え、資材等コスト上昇分の着実な価格転嫁を進めたことにより、前年同期に比べ11.0%増収の90億81百万円、利益は、売上高の増加に加え、要員効率化等のコストダウンを進めたことにより、前年同期に比べ228.0%増益の9億83百万円となりました。



プッシャー式ピロット連続加熱炉

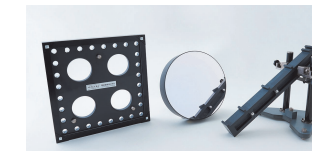
セラミックス事業

売上高構成比 **4.7%**  
 売上高 **41.2** 億円



電子部品向け材料の受注が回復したこと等により、増収増益

電子部品向け材料の受注が回復したこと等により、売上高は、前年同期に比べ9.8%増収の41億22百万円、利益は、前年同期に比べ61.9%増益の1億93百万円となりました。



NEXCERA®超低熱膨張セラミックス

不動産事業

売上高構成比 **0.2%**  
 売上高 **1.9** 億円



保有していた賃貸不動産の期中売却により、減収減益

売上高は、保有していた賃貸不動産の期中売却により、前年同期に比べ48.4%減収の1億90百万円、利益は、前年同期に比べ56.2%減益の1億32百万円となりました。なお、前連結会計年度において、石灰事業から撤退したことに伴い、当連結会計年度から[その他]のセグメントを廃止しております。



当社の賃貸物件